

大会名称: 平成28年度
第69回四国高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 13 男子 準決勝

期 日: 2016(H28)年6月19日(日)

主審: 三谷 修司

開始時間: 10:30

副審: 西 和馬

終了時間: 12:00

松山工業 (愛媛1位)	○ 83	24 - 9	● 47	高知中央 (高知1位)
		27 - 12		
		18 - 14		
		14 - 12		
		-		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	権藤 史也	8	0	3	2	0	2	2
5	*	東浦 元樹	17	2	1	9	0	3	7
6		早瀬 陽介	2	0	1	0	3	0	1
7	*	宮本 尋	8	1	2	1	0	4	2
8	*	萩野 一洋	18	0	4	10	1	5	1
9	*	佐伯 祐輔	10	2	2	0	1	0	1
10		亀岡 拓矢	0	0	0	0	0	0	0
11		松尾 優夢	10	0	5	0	2	2	2
12		菊池 雄太	5	1	1	0	0	0	0
13		仙波 洋人	3	0	1	1	1	1	0
14		高橋 聖太	0	0	0	0	2	3	0
15		正岡 広暉	0	0	0	0	0	2	0
16		池内 亮太	2	0	1	0	0	0	1
17		曾我部 鈴汰	0	0	0	0	0	0	0
18		青木 龍之介	0	0	0	0	0	0	2
HC		宮崎 智之 / TEAM							
		合計	83	6	21	23	10	22	19

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		松本 圭司	0	0	0	0	3	3	0
5		楠橋 力	0	0	0	0	0	0	3
6		上岡 大祐	-	-	-	-	-	-	-
7	*	濱田 朋知	7	0	2	3	3	2	1
8	*	石井 良樹	13	3	2	0	1	1	2
9		久志本勝斗	0	0	0	0	2	0	0
10		森川 優	0	0	0	0	0	0	0
11		ハム・スンホ	16	1	5	3	5	2	1
12	*	明坂 龍史	0	0	0	0	4	3	0
13	*	中岡 陸斗	3	1	0	0	5	0	1
14		阮 晨昕	2	0	1	0	0	3	0
15	*	AYOM CHOL MAKOL NYOK	6	0	2	2	4	4	0
16		山本 泰三	-	-	-	-	-	-	-
17		小坂 莉功	-	-	-	-	-	-	-
18		今橋 潤	-	-	-	-	-	-	-
HC		瀬田 幸穂 / TEAM							
		合計	47	5	12	8	27	18	8

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。松山工業は高知中央の高さに対して、#5の3Pやスピードを生かしたドライブインなどで流れを掴む。高知中央は厳しいディフェンスに阻まれ、思うようにオフェンスを組み立てることができない。残り7分、高知中央のタイムアウトをとりゾーンディフェンスをしかけるが、#5の3Pや#8のドライブからの得点が決まり、松山工業ペースを変えることはできない。その後も松山工業が確実に得点を重ね、24-9で第2ピリオドへ。
 第2ピリオド、高知中央は#11を中心にオフェンスを組み立てるが、なかなか得点を伸ばすことができない。対する松山工業は激しいディフェンスから速い展開の攻撃をしかけていく。鋭いドライブインからファウルを誘い、#5の3Pや#8のインサイドで得点を重ね、ゲームの主導権を渡さない。51-21の30点差をつけ前半を終える。
 第3ピリオド、松山工業はメンバー交代をしながら更にリードを広げていく。高知中央はゾーンディフェンスでなんとか流れを掴もうとするが、松山工業は落ち着いてオフェンスを組み立てていく。69-35と松山工業がさらにリードを広げる。
 第4ピリオド、高知中央は高さを生かしたオフェンスで食らいつつが、なかなか得点が伸びない。松山工業は高知中央の高さに対しても終始激しいディフェンスで相手のオフェンスを阻み、安定した試合運びで決勝へと駒を進めた。

担当者: 岡田 健佑(愛媛県高体連)

四国高等学校体育連盟・愛媛県教育委員会・四国バスケットボール協会

